

激動の時代を生きた男、西郷隆盛

☆西郷隆盛を選んだ理由

2018年度に放送された大河ドラマ「西郷どん」、さらに歴史マンガ、歴史の番組などで西郷隆盛の名を聞くことが多かったのでどんな人物なのか詳しく知りたいと思いました。

Q1 そもそも西郷隆盛って誰？

A. **薩摩藩**(鹿児島県)の藩士です。大久保利通と共に藩政の実権を握っていました。

生涯討幕と明治維新に尽力し、**江戸城無血開城**(Q5)、明治政府を樹立するなど多くの功績を残した人物です。しかし後に大久保利通らと対立すると明治政府を脱退し、**西南戦争**(Q6)という戦いで反乱軍の頭首として参加します。結果は敗北し、1877年鹿児島城山で自決しました。49歳でした。

維新の三傑(Q6)の一人でもある西郷隆盛。それでは彼の一生を詳しく見ていきましょう。



Q2 彼の少年、青年時代は？

A. 西郷隆盛の家は下から二番目の下級武士の身分でした。大家族ということもあり家計は決して楽ではなかったようです。また、三歳下の幼なじみには**大久保利通**がいました。

喧嘩の仲裁をした時に運悪く右腕の神経を斬られてしまい、その後刀が握れなくなってしまいました。この出来事をきっかけに剣術を諦め、学問に励むようになりました。

その後成長した西郷は薩摩藩の役人として働いていました。その際に藩政に関わる意見書を出し、それが当時の第11代薩摩藩藩主**島津齐彬**の目に留まります。それによって1854年27歳の時に江戸行きを命じられ齐彬の参勤交代の列に加わる事になったのです。

Q3 その後どのようにして藩政を動かす様になったの？

A. その説明をするのには少し長くなります。

その後も西郷は齐彬の側近として大いに活躍しました。しかし1858年、齐彬が急死してしまうと西郷は大きなショックを受けました。そんな西郷を救ったのが**月照**という僧でした。月照に励まされ、齐彬の意思を継ぐ事を決めたのでした。

一方その頃、江戸では大老井伊直弼の**安政の大獄**が始まっていました。安政の大獄とは反対派の大名や公家の有能な人材を処刑するなどの反対派への弾圧のことです。

これにより月照にも政府の追手が迫り、西郷は月照を匿う事にしました。しかし薩摩藩には受け入れを拒否され切り捨てを命令されてしまいます。前途を悲観した二人は海に身を投げ、入水自殺を図りました。しかし、西郷だけが奇跡的に一命を取り留めるのでした。

この事件を受け、薩摩藩は西郷が幕府に捕まらないように月照と共に死んだことにし、奄美大島

に身を隠させます。その四年後、力を付けていた大久保利通の助けもあり西郷は薩摩に戻ることができました。しかし当時の藩主の父島津久光の怒りを買って、対立してしまいます。結局、奄美大島から召還されてから僅か5カ月余りで再び沖永良部島に流されてしまうのでした。沖永良部島では雨が吹き付ける程の粗末な牢獄に閉じ込められていたそうです。そんな中、久光一行を横切ったとイギリス人を薩摩藩士が殺傷してしまった生麦事件、生麦事件の報復としてイギリス軍艦が鹿児島湾を砲撃した薩英戦争などの大きな事件が起きていました。さらに、久光の政策も行き詰ってしまい、藩内でも西郷を呼び戻す声が高まった結果、久光もこれを承諾し西郷は罪を許されます。およそ二年後の事でした。その後西郷は薩摩藩の中で重要な役職を任命され、大久保利通と共に、藩のリーダーとして藩政を動かしていきました。



生麦事件(1862)

Q4西郷隆盛はどのようにして討幕を進めたの？

A.もともと薩摩藩は幕府側の藩でした。しかし、島津久光が当時の将軍徳川慶喜と上手くいかなかったことや薩長同盟を結んだ事により、討幕派に切り替えました。

長州藩とは八十八夜の政変、禁門の変、第一次長州征伐などで溝が深まっていたが土佐藩の坂本龍馬、中岡慎太郎らが仲裁をした事により薩長同盟が結ばれます。これにより、幕府との戦いに加勢しました。(第二次長州征伐)

そして討幕を本格的にするにあたって大政委任論、"政治の実権は本来天皇にあり、将軍は天皇に政権を任されている"という考え方をベースに討幕の大義名分を作り出します。(討幕の密勅)人間はやはり良心というものがありますから理由がなければ人と争い、殺し合う事はできません。なので「将軍は任せられている立場なのだから天皇の意見に背くことはしてはいけないはずなのに慶喜は天皇の言うことを聞かずに好き勝手やっている！」→この考え方で討幕をしようとする。

しかし先を読んだ徳川慶喜は大政奉還を行い、大義名分をなくしました。何故大政奉還をすると大義名分がなくなるのか？それは、大政奉還とは政治の実権を天皇に返すこと、すなわち必然的に慶喜が好き勝手に政治をしているという事実がなくなってしまうからです。

大義名分を失い、焦った西郷達はクーデターを起こすことにしました。これを王政復古の大号

令と言います。天皇自身が政治をしていた頃に戻す事を全体に告知するという意味を持ちます。このクーデターは見事成功し、西郷らは天皇を中心とする新政府を樹立しました。

およそ260年間続いた江戸幕府はこの時点で滅亡したのです。

Q5 Q1で出てきた江戸城無血開城って何？

A. これを説明するには、まず戊辰戦争から知る必要があります。

戊辰戦争(1868-1869)とは明治政府を樹立した新政府軍と徳川慶喜ら旧幕府軍の戦いです。鳥羽伏見の戦いから始まり、五稜郭の戦いで旧幕府軍が降伏し新政府軍が勝利を納めました。そしてその中に江戸城無血開城があります。では詳しく説明していきましょう。

江戸城無血開城とは新政府軍と旧幕府軍の間で行われた江戸城の引き渡しとそれに至るまでの過程のことを指します。

幕臣の勝海舟は考えました。江戸で新幕府軍と旧幕府軍がぶつかれば間違いなく江戸は焼け野原になってしまいます。そこを外国勢力に付け込まれる可能性もあり、それに何より江戸の住民に多大な被害が及ぶのは目に見えていました。ですから勝海舟は江戸を戦場にはしたくありませんでした。そこで新政府軍でも面識のある西郷隆盛に対談をしたいと持ちかけたのです。すでに新政府軍は江戸城に総攻撃をしかける準備はできていました。しかし西郷隆盛と勝海舟の対談により「江戸城を引き渡せば、総攻撃はしない」という条件で江戸の危機は免れたのです。人々の命を守りたいという気持ちは敵味方を超えたのでした。こうして誰の血も流すことなく江戸城は明け渡されたのです。



西郷隆盛(左)と勝海舟(右)



西郷隆盛と勝海舟が対談した跡地

Q6 西郷隆盛は何故明治政府を脱退したの？西南戦争って？

西郷隆盛と大久保利通が対立したのは朝鮮が大きく関係しています。

朝鮮は当時鎖国しており日本にあまり友好的ではありませんでした。そこで西郷隆盛を中心に「朝鮮隊を派遣して開国させよう」という征韓論が持ち上がりました。当時士族の新政府への反発も多かった為、それらを落ち着かせる為でもあったようです。そして一時は西郷が朝鮮に使節として派遣することが決まりましたが、外国から帰ってきた(不平等条約改正のため)大久保利通らはこれに「今は国内に力を注ぐべきだ」と大反対をします。

結局朝鮮派遣は土壇場で中止になり、それに激怒した西郷は政府を脱退してしまうのでした。これに続き、大勢の人々が明治政府を抜けていきました。これを明治六年の政変といいます。明治政府を抜けた西郷は鹿児島に戻り、私学校という士族(元武士)の教育機関を作ります。そして次第に、この私学校の士族が県の権力を握るようになり、政府の方針にも従わなくなりました。当時は士族の待遇が良くなかった為、各地で士族の反乱がおきていました。そのため明治政府は反乱を恐れ、鹿児島動きを警戒し鹿児島の方に密偵を送り込みます。さらに反乱を起こさないよう、鹿児島にある軍の武器や弾薬を運び出そうとしました。しかしそれに反発した私学校の生徒たちが政府の弾薬庫を襲い、武器弾薬を強奪する事件を起こします。また密偵を捕まえたところ、西郷の暗殺計画があると自供し(士族が勘違いした可能性もあり)さらに政府への反感は高まっていきました。これ以上士族たちの反発を抑えられないと悟った西郷は挙兵を決断したのです。そして1877年、西郷は1万3000の士族を引き連れて出陣。これが西南戦争の始まりです。西郷軍は各地の士族も加わり最大で4万人にもなりました。しかし結果は西郷軍の敗北。新しい武器と訓練を受けていた政府軍のほうが強かったのです。1877年9月24日、自らの最期を悟り、明治維新の立役者、西郷隆盛は自決しました。49歳のことでした。

倒幕、維新に尽力した大久保利通、木戸孝允、そして西郷隆盛は維新の三傑と呼ばれています。

参考文献

https://www.kodomo.go.jp/yareki/person/person_14.html

<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E8%A5%BF%E9%9A%86%E7%9B%9B>

<https://www.touken-world.jp/tips/13328/>

<https://www.nippon.com/ja/views/b07204/>

朝日小学生新聞の学習漫画 日本人物 れは歴史のれ 3